

## 新庁舎建設特別委員会の概要（第51回）

1 日 時 第51回 令和7年11月14日（金）  
16時00分～16時51分

2 場 所 第1議会委員会室

3 欠 席 永田委員

4 内 容 1 市民アンケートの結果について  
2 その他

### ◆配布資料

- ・市民アンケート結果票、回答票
- ・市民アンケート結果報告書

市民アンケートの結果について、執行部より説明があり、その後質疑応答を行った。

1 市民アンケートの結果について

#### 【主な説明内容】

- ・美濃加茂市に在住の満15歳以上の8,000人を対象に実施。
- ・回収数：4,078、回収率：50.98%となった。
- ・賛成（行政に一任）：64.3%（2,623人）、  
反対：20.9%（854人）、判断できない：14.2%（581人）
- ・すべての年代で賛成が60%以上。
- ・すべての居住地区で賛成が50%以上。
- ・反対した人の中で、畜産研究所周辺が52.5%（448人）で半数以上であった。
- ・反対した人の中で、北部や加茂野地区で畜産研究所周辺を選んだ人が多かった。

#### 【委員会で出た主な意見】

〈委員〉 結果に対する執行部の見解は。

→予想していた以上に賛成が多かった。同時に自由記載の意見も多くあり、様々な意見があることも踏まえたい。議員の理解も得て12月には賛成の議決をしていただきたい。

〈委員〉 50.98%の回答率についてどう思うか。

→半数以上の方に回答いただき非常にありがたい。

〈委員〉自由記載について公開してもらえるということだが、賛成と反対の記入割合は。

→改めて報告をする。

〈委員〉自由記載の意見はいつ頃まとめて、報告があるのか。

→現在作業中であり、12月中旬には公表できるようにしたい。

〈委員〉かわらばんにはデメリットが記載されていなかったが、デメリットが記載されていない情報提供をして、賛成できないが35.7%という数字をどのように受け止めているか。

→判断できない方には、どこまで情報が伝わったのかという不安はあるが、かわらばんvol.6だけではなくて、QRコードでvol.5についても全て見られるようにしており、何かを隠そうということではなく、全てオープンの状態にしていた。それをどこまで読み込んでどこまで理解してもらえたかというのは、それぞれ個々によって違うかと思うが、非常に多くの方にご賛同いただけたというのは、少しひっくりするぐらいの数字であったので、十分に市民にいろんなことが届いたと考えている。

〈委員〉回収率50%を超え、賛成が64.3%ということは、十分大きな数字である。すべての年代で60%超えているところが、これまで聞いてきた意見が数字化されたと思う。

〈委員〉自由記載のことは頭に入れながら、それでも市民の意見を聞くということが一番反映されていると感じるので、64.3%賛成ということに信任をしていく。

〈委員〉ほぼメリットしかない資料であったが、賛成できない方が35.7%であり、逆に良くないのではないか。

〈委員〉議会は一丸となってこの民意64.3%を受け入れて賛成になっていくとよい。議員それぞれ思いがあるため分からぬが、私はこの数字において判断、決断する。

〈委員〉50.98%という回答率、短い間で半分以上の回答で少し驚いている。この数字がこのまま市民の気持ちであるのかを受け止めながらも、まだ集計できていない反対の方賛成の方のそれぞれの自由記載を今後どのように議員として織り込んでいくかということが今度は課題になっていくと思う。

〈委員〉思った以上に数字が良かった。もう少し現庁舎が伸びると思っていた。アンケートの結果は民意を反映したものとして受け止めるが、実際の意見としてどういったものが出されたかは、12月の中旬にまとめられるので、そこら辺も含めて判断をしていきたい。

〈委員〉アンケート結果で60%が賛成となったが、反対の人でどこに作るかというのが、畜産試験場が52.5%で多くなっている。畜産研究所周辺であれば、プラザちゅうたいを壊さない。現庁舎も壊さない。これから駅北も壊さないということで、それぞれの費用を出してもらって、判断してもらうとよかったです。

〈委員〉64.3%の人が賛成したということは、真摯に受け止めた方がよい。反対の人もあり、その部分もある程度執行部は考えて、どの部分が良かった、悪かったということはある程度決めて進めてほしい。

〈委員〉64.3%という数字はやはり重く見なければいけない。あえて言うなら賛成のと

ころの「行政に一任」が今思うと引っかかるところが正直ある。これから地元の人からいろんな声が聞こえてくるので、早速明日からいろいろ話し合いをしていきたい。

〈委員〉 新庁舎をプラザちゅうたいにすることにおける課題を真剣にこれから議論してほしい。少なくとも今回のアンケート調査に関してはそうした課題は十分に議論された上で反響というのではないので、アンケートは現状の市民の認識を感じている。

〈委員〉 賛成の率が本当に高く、尊重したい。これから何年先とかいうことは若い人たちが選んでいくことなのでこのアンケートを重視する。もともとプラザちゅうたいの賛成ではあるが、このアンケートで裏付けがされたと感じている。

〈委員〉 アンケートの質問は執行部からの質問で、4候補地でどこがいいかというようなアンケートではなかった。1つのアンケート結果と捉えている。

〈委員〉 このアンケートの結果を大事にしたい。プラザちゅうたいということを題材として、しっかり市としてはやりなさいよ、という市民の評価だと思う。

〈委員〉 アンケートの誤差は。

→15歳以上の美濃加茂市民、例えば外国籍の方、除いて4万人ぐらいだとすると4万人全体に聞くよりもその中の無作為で抽出した2500人取れば2%以下で把握ができると統計上言われている。今回の場合は4000人を超える結果であり、2%以下ということになる。

〈委員〉 資料の公開は行うのか。

→今回の結果報告書の内容を市のホームページとみんなの新庁舎にこの後公開する。